

練習問題

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

今は昔、竹取の翁たけとりのおきなといふ者1ありけり。野山にまじりて竹を取りつつよろづの事につかひ

(野山に分け入って)

けり。名をばさかきみやつこの造となむいひ2ける。その竹の中にもと3光る竹なむ一筋ありける。

(根元が)

あやしがりて寄りて見るに、筒の中4光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人いと美

(九センチくらいの人)

しうてゐたり。翁いふやう、「われあさごとゆふごとに見る竹の中におはするにて知りぬ。

(毎朝毎晩)

(いらっしやった縁で気づいた)

子になり給ふべき人なめり」とて、手にうち入れて家へ持ちて来ぬ。妻の5おなにあづけてd養

(音)

はす。美eしきこと限りなし。
(おしせむす) (『竹取物語』)

問一 傍線部1～5の品詞は何か。ア～クの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 動詞
- イ 形容詞
- ウ 形容動詞
- エ 名詞
- オ 副詞
- カ 連体詞
- キ 接続詞
- ク 感動詞

1	
2	
3	
4	
5	

〔参照〕

↓(ポイント)

A 品詞

問二 二重傍線部の中から、付属語をすべて抜き出せ。

--

問三 二重傍線部を文節に区切るといくつに分かれるか、答えよ。

--

問四 波線部 a～e の活用形は何か。ア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形
オ 已然形 カ 命令形

a
b
c
d
e

↓(ポイント)
d 付属語

A 品詞

↓(ポイント)
b 文節

A 品詞

↓(ポイント)

B 活用形

C 係り結びの法則